



宮城県職員募集2025

学校事務 小中学校学校事務 ②

業務紹介

◆ 概要

総務・経理等の事務全般（図書事務を含む。）、
学校教育や社会教育等に関する教育行政事務

◆ 勤務先

県内の公立小中学校、高等学校、特別支援学校（仙
台市立の学校を除く）本庁各課、教育事務所、県美術
館、県図書館、東北歴史博物館、自然の家など

自己紹介

- ◆ 出身 : 宮城県多賀城市
- ◆ 入庁までの経歴 : H28.3 県内高校卒業
H28.4 入庁

入庁後の異動歴（現在入庁10年目）

H28.4～

宮城県名取高等学校

職員の給与、旅費、福利厚生や通学証明書・卒業証明書発行業務など

H31.4～

山元町立山下第二小学校

職員の給与、旅費、福利厚生、校内会計、公費会計など

R4.4～

山元町立山下小学校

R7.4～

教育庁福利課 企画管理班

職員の退職手当など

志望動機

◆ なぜ公務員？

地域に貢献できる大人になれたらカッコいいなあ、という思いを漠然と持っており、高校生のときに進路を探っていく中で公務員を目指そう、と思いました。

◆ なぜ宮城県庁？

生まれ育った宮城県ではあるけれど、行ったことのない市町村も多くあり、行ける可能性がある！ということにワクワクした思いがありました。

これまでに担当した業務の紹介

高校

担当：職員の給与、旅費、福利厚生や通学証明書・卒業証明書発行業務など

特徴：5人配置の事務室。

わからないことは、上司や先輩職員に聞いて解決していました。すぐ近くに頼れる存在がいることで、初めての仕事も安心して取り組めたように感じます。

小学校

担当：職員の給与、旅費、福利厚生、校内会計、公費会計、施設設備管理など

特徴：1人配置。職員室内の教頭先生の隣で業務。

わからないことがあるときは、近隣の小中学校と連絡を取り合っていました。最近では、Googleアカウントが付与されているのでチャットでのやり取りも。

現在の担当業務の紹介

◆教育庁福利課 企画管理班

担当：教職員の退職手当など

特徴：退職した教職員の退職手当を算定・支給する業務と、それに関連する業務です。退職後に続けて他の公務員に就職したりするとその期間が通算されることがあるため、他県や市町村との書類のやり取りを行うこともあります。大きな金額を扱う業務であることと、退職者の生活設計にも欠かせない手当となることから、気を引き締めて業務を行っています。

入庁前のイメージとのギャップ

◆ 入庁前のイメージ

学校の事務室でのデスクワークや事務作業が多そう。
縁の下の力持ち。

◆ 入庁してみたら・・・

学校勤務では、学校施設や備品を確認するため、適度に歩きます。
そうしていると、自然と児童生徒とコミュニケーションをとることもあり、
新鮮に思うことが多かったです。小学校は給食がおいしい！

仕事をする上で心がけていること

◆出来るだけ明るく、ポジティブな考え方を意識してみること。

常日頃の意識は声や行動に出てくるものと思っています。対面・電話越しに関わらず、お互いが安心できるようなコミュニケーションで円滑な業務につなげられるといいな、と思います。

◆仕事での悩みや疑問を抱え込みすぎないこと。

職場には頼れる上司や先輩がいます。抱え込んでしまう前に、仕事はチームで解決していく、という気持ちで発信することが大事だと思います。

印象に残っている業務

- 学校のとある小部屋にエアコンをつけたい！

夏季の高温時にも利用するため、設置を希望していましたが普通教室以外は予算の兼ね合いから設置が難しい、ということがありました。

翌年以降もなんとか諦めずに手を変え品を変え、必要となる理由、物品を精査し要望し続けたところ、3年目に必要性が認められ設置できることとなりました。

学校に必要なものを把握し、整備する責任がある仕事なんだ、と改めて感じる業務経験でした。

仕事のやりがい

- 学校での備品購入の場面では、自分が発注を行った遊具や物品を子どもたちが使っているところを見るのが嬉しい瞬間です。たくさん使って、子どもたちのよい経験になってくれたら嬉しいです。
- 現在の業務（退職手当）は子どもと直接かかわりはありませんが、教職員の福利厚生を安定を図ることは、教職員の活躍を支える一つの柱だ！と思いながら日々の仕事に取り組んでいます。

職場の雰囲気

私が経験したどの職場も共通して、優しく話しかけやすい雰囲気を作ってくださっている印象があり、困ったときには発信・共有できる、安心できる環境だなと感じます。

県庁 報・連・相の風通しがよい職場

業務で失敗やミスをしても、ためらいなく上司に報告・連絡・相談ができる雰囲気があります。

高校 事務のスペシャリスト

県立学校では多くの事務室が3～5人程度の事務職員で構成されています。
それぞれ分担して仕事を行います。

小学校 職員室でワンチーム

事務職員は1人配置も多く、職員室で先生方と連携して業務を行うことも多いです。

宮城県職員の魅力

◆ 県内全域が異動範囲！ 地域を知る絶好の機会

県内出身でも、行ったことのない地域やなじみが薄い土地も少なくないと思います。異動により、各地域の方々と関わり、それぞれの土地の魅力を感じることができます。

◆ 多様な仕事を経験できる

学校では幅広い業務があり、学校運営や行事にも関わります。

その他、本庁や教育事務所では特定の業務に深く携わります。図書館や美術館、自然の家など、社会教育に関する所属もあり、教育に関わる様々な業務を経験することができます。

私の公務員試験対策

○高校の進路室にある問題集など、たくさん解いてみる

○担任の先生に面接の練習をしてもらったり、友人と模擬面接

○適性検査対策を週に何度かやる、習慣化してみる

なるべく試験の形に慣れるような対策をしていました。公務員専門学校の夏季講習なども受講しました。

やはり試験当日は緊張してしまうので、緊張をどうにかする自己暗示をよくしていました。

先輩職員からのメッセージ

学校事務は宮城県の子どもたちの成長につながる先生方の活躍を支える、とてもやりがいのある仕事です。

様々な経験をできるのが特徴の一つですが、その中でも楽しいこともたくさんあります。児童生徒の成長を近くで感じることできる学校行事のほか、小中学校などに行くとおいしい給食を食べることができるのも学校事務の魅力の一つだと思います。

少しでも参考になれば幸いです！